
マルエーフェリー北九州航路開設、南西海運と協調

Edited By LogisticsToday On 2019/03/26

マルエーフェリー（旧・大島運輸、鹿児島市）は26日、内航RORO船2隻と南西海運の一般貨物船1隻の協調配船による「北九州-那覇-先島」の定期貨物航路を開設する。

阪神航路の2隻体制による定曜日運航に加え、南西海運との協調配船によって本土-沖縄間の貨物需要に対応。既存の東京-鹿児島航路と今回の北九州航路を合わせ、九州を含む本土から沖縄に向けて最大で週12便の海上輸送サービス網を確立する。

新航路は、内航RORO貨物船「琉球エクスプレス6」（1万329トン）を毎週火曜日、同「琉球エクスプレス2」（1万758トン）を毎週土曜日に北九州日明（ひあがり）港に寄港させ、沖縄に向けた定期航路を開設するもので、日明港からの初便は3月26日の琉球エクスプレス6、3月30日発便は琉球エクスプレス2とする。

北九州航路の開設に合わせ、南西海運（沖縄県那覇市）と提携して協調配船を行う。南西海運は毎週木曜日に「北九州日明港-那覇-先島」間を結ぶ航路に一般貨物船「よね丸」（749トン型）を配船。これにより、日明港からは両社で毎週火、木、土曜日発の週3便の定期輸送サービスとなる。

両社の既存航路を活用することで、日明港を経由した沖縄-先島への輸送サービス展開が可能になる。南西海運の日明港からの初便は3月28日で、初便のみ「ちよ丸」（499トン型）を運航する。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/338710>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.